

「北上市体育協会の選手強化事業について」



当協会が北上市から、指定管理者として管理業務を受託している北上総合運動公園を主会場に開催される「希望郷いわて国体・同大会」まであと543日(3月1日現在)となり、県民の国体への関心もいよいよ高まりを見せています。

国体開催期間中は何と言っても地元選手の活躍が最も関心事となることでしょう。そのために、現在、選手強化に関わる県機関及び各競技団体関係者の皆様は大変な努力をされていることと思います。

当協会におきましての選手強化事業は、平成11年度に岩手県で開催された全国高校総体に向けた取組みまで遡ります。当時は、本市開催種目(陸上、新体操、ソフトテニス)で当該年高校生になる児童・生徒を対象に平成7年度から行いました。インターハイ終了後は毎年、加盟競技団体からの要望に応え幅広く進めて参りました。しかし、平成24年度には、国内及び国際大会で活躍する選手の育成という大きな目標を立て、その強化方針等を定めるため、北上市選手強化本部を設置しま

した。本部会議の結果、当面は国体に向けた強化事業を進めることとしました。

事業の主な内容は、ジュニア選手のためのスポーツ障害、食事及び栄養等のコンディショニング、トレーニング方法等についての指導者講習会を4回、医師、歯科医師、薬剤師及び理学療法士等医療に携わる専門家から公演及び個別相談会等を行うスポーツ医科学セミナーを1回、加盟競技団体の企画による技術講習会等への助成金交付を4～7団体に行っております。

限られた財源での強化事業となりますが、今後は、総花的な事業展開から思い切った事業配分で目に見える成果が上げられるような方針転換も必要であると感じております。

国体への強化事業はあと2ヶ年となりますが、各競技の岩手県代表選手が大いなる活躍をさせていただいて、県民に対して東日本大震災復興の勇気と希望を与えて、「希望郷いわて国体・同大会」が成功裏で終了してくれることを切に願い、当協会も国体成功のため協力を惜しまない所存であります。

